



新成人 新たな決意

成人の日は、新成人たちが両親や周囲の大人たちから見守られてきた子ども時代を終え、自立し大人への仲間入りをする儀式を行う日です。そんな特別な成人式、新成人たちはどのようなことを感じたのでしょうか。長い人生のなかでは、成人式の記憶はあつという間に遠い過去のものとなります。でもこの日の記憶は大事にしたい。そこで、成人への第一歩を踏み出し、明日へ向かう新成人の決意を一言話してもらいました。



小波津 大二郎

「社会人野球をこれかも続けていきたい。今年は『浜くず』でオリオン杯優勝を目指します」



赤田 幸司

「学校に通いながら働いていますが、将来は誰からも信頼される看護師になりたいです」



神里 春香

「いつも前向きでいてほしい。辛いことがあっても笑って飛ばしていきたいです。また、笑顔の似合う女性になりたいです」



林 奈津美

「大学で教員免許をとるために勉強中です。将来は立派な先生になって子どもに夢を与えられるようになります」



瑞慶覧 紗希

「たくさんさんの事を経験して自分を磨いていきたい。そしてもう一度、50年後にみんなと再会してみたい」



渡嘉敷 漠

「社会の一員となれてうれしい。早く社会に貢献できるようにがんばりたい」



仲村 可奈子

「立派な大人になりたい。まずは目の前にあることから一歩一歩前に進めたいと思います」



照屋 綾香

「子供が大好きなので将来は、信頼される保育士になりたい」



永山 尚幸

「消防職員になって災害から地域の人たちを守ってあげたい」



仲座 裕紀乃

「エスデで仕事をしていきます。将来は自分のお店をもつてたくさんの人を綺麗にしたいです」



大嵩 葉月

「教員をめざしています。将来はみんなから慕われるような先生になりたいです」



新垣 陽介

「二児の父親として、子育てに励み明るい家庭を築きたい」



徳元 一乃

「旅行会社で添乗員になって1ヶ月目です。立派な添乗員になれるようがんばります」